

第11回「日本語体験コンテスト in 上海」の 結果が東方時報に掲載されました！

10月3日(木) 掲載

【本报讯/记者何江上海报道】9月21日下午，第11届“共立杯”大中学生日语演讲比赛，在上海甘泉外国语中学举行，比赛由日本共立国际交流奖学财团主办，日本驻上海总领事馆，全日空等后援。长三角地区140余名大中学生，通过紧张激烈的预赛和决赛角逐，最后有8名优胜者获得了共立财团全额资助，将到日本进行5晚6天的梦想体验之旅。



10年耕耘不寻常，大中学生日语演讲比赛走过了10年风风雨雨，在主办方——日本共立国际交流奖学财团的大力支持下，以及在华东地区有着41年日语特色教育历史的上海甘泉外国语中学共同努力下，比赛也从一个方面，促成了长三角地区青少年日语学习水平的不断提高，成为在开拓学生国际视野和探索多元文化上的一把金钥匙，在中日文化交流和培养优秀国际性人才上有着重要意义。（载10月3日《东方新报》）

【日本語訳】

第11回「共立カップ」大学・高校生の日本語スピーチコンテストが、9月21日午後1時より、上海甘泉外国語中学校で開催されました。日本共立国際交流奨学財団主催の今回のスピーチコンテストは在上海日本国総領事館、全日空などの後援を得て、長江デルタ地区の約140人の大学・高校生が参加しました。予選会と本選会を勝ち抜き、最後に8人が入賞しました。なお、この8人には入賞賞品として、共立国際交流奨学財団が全額費用負担する5泊6日の日本体験旅行が送られました。

努力の結果、大学・高校生の日本語スピーチコンテストは10年を迎えることができました。主催者の日本共立国際交流奨学財団及び華東地域で41年間の日本語教育の歴史を持つ上海甘泉外国語中学校の長年の努力を通じて、この日本語スピーチコンテストは、長江デルタ地区の青少年の日本語学習のレベルを高めることに貢献して来ました。更に、学生達の国際視野を広げると共に異文化を探究することのきっかけになり、中日の文化交流と優秀な国際人材を育成する上においても重要な意味を持っています。